

企画展 神々の美術 一出雲の神像と神宝

【会期】 2024年4月26日(金)～6月16日(日) ※会期中展示替えがあります。

【会場】 松江歴史館 企画展示室

日本人は仏教伝来以前、神を山や海、岩、樹木などに宿るものとして具体的な姿をあらわさなかった。しかし、6世紀に大陸から仏教が伝わると、日本人も仏像のように具体的な神の姿を表すようになる。それが神像である。かつては神像だけでなく、日本独自の思想である本地垂迹説により、神の本地である仏像も神道において祀られ、信仰された。

また、神道において、神が日常において使用するものとして、衣装や化粧道具など様々な神宝が造られ、奉納された。それらの神宝はある一定の期間が過ぎると撤下され、古神宝として大切に保管された。

出雲は数多くの神話の舞台になっていることから神々の国といわれるが、実際他国と比較しても神社の歴史が古く、数も多い。同時に、伝来する神像や古神宝の数も多い。

本展では、これらの神像や仏像、古神宝などを2章に分けて展示し、出雲の人々の神々に対する思いや信仰について考える。



国宝「秋野鹿蒔絵手箱」(出雲大社蔵)
5月28日(火)～6月16日(日)展示予定



重要文化財「彩繪檜扇」(佐太神社蔵)
4月26日(金)～5月19日(日)展示予定



重要文化財「木造摩多羅神坐像」(清水寺蔵)
5月21日(火)～6月16日(日)展示予定

※松江市内初公開

①国宝1件、重要文化財8件、
名宝がめじろおし！

島根県東部の神社や寺院に伝わる名宝たちが大集合。国宝、重文のほかにも島根県指定文化財なども多数展示。

②松江での公開は数十年ぶりの
作品がたくさん！

出雲大社「秋野鹿蒔絵手箱」(26年ぶり)、佐太神社「彩繪檜扇」(26年ぶり)などの作品が松江では久々にお目見え！

③松江歴史館では初めての
神道美術展！

松江で神道美術の名宝たちを見ることができるといえない機会となります。

出雲の寺社に遺る神像や、神の本地として祀られた仏像など神々の姿、そして、神々に捧げられた、贅を尽くした道具の数々を展示。



①



②



③



④

- ①島根県指定文化財「木造牛頭天王坐像」(鰐淵寺蔵)
- ②島根県指定文化財「木造女神坐像」(成相寺蔵)
- ③重要文化財「兵庫鎖太刀」(須佐神社蔵)
- ④重要文化財「金銅蔵王権現懸仏」(法王寺蔵)

関連プログラム(予定)

連続講座 いずれも会場は松江歴史館歴史の指南所、14:00～15:00、聴講無料、要予約

- ① 4月27日(土)「仏の姿をあらわす神一本地仏」 講師:的野 克之 (当館学芸専門監)
- ② 5月11日(土)「370年前の地誌『懐橘談』で見る出雲国」 講師:新庄 正典 (当館主任学芸員)
- ③ 5月25日(土)「美の玉手箱、国宝・秋野鹿蒔絵手箱について」 講師:大多和弥生 (当館副主任学芸員)
- ④ 6月1日(土)「ゑびす様に願いを託すー鳴物奉納のワケー」 講師:笠井今日子 (当館副主任学芸員)
- ⑤ 6月8日(土)「すみずみまで見てみよう！出雲大社蔵三十六歌仙図額」 講師:藤岡奈緒美 (当館学芸員)

ギャラリートーク いずれも会場は松江歴史館企画展示室、14:00～15:00

5月18日(土)、6月2日(日) ※申込不要、参加には企画展観覧券または年間パスポートが必要

【開館時間】9:00～17:00(展示室への入場は16:30まで)

【休館日】毎週月曜日、ただし4月29日(月)、5月6日(月)は開館。5月7日(火)は休館。

【主催】松江歴史館 (ホームページ:<https://matsu-reki.jp/>)

【問い合わせ】〒690-0887 島根県松江市殿町 279 番地

TEL:0852-32-1607(代表) 0852-55-5511(学芸直通)

FAX:0852-32-1611 E-mail:rekishi@city.matsue.lg.jp

担当:的野(まとの)、藤岡(ふじおか)、大多和(おおたわ)